

## 街路樹の剪定について

【ご意見】（令和8年3月23日受付）

西船山通りに「こぶし」の街路樹が植えられています。「こぶし」は春一番に咲く良い樹木ですが、花の咲く直前に丸坊主に切られてしまって花の咲くところは見ることがありません。

何のために「こぶし」を植えたのでしょうか？

【回答】

街路樹設置の目的としては、良好な道路交通環境や生活環境の確保が挙げられます。春の訪れを告げるコブシの花は、多くの市民の皆様の目を楽しませるものと思います。

コブシの木の剪定の適期は、花の時期の後となっておりますが、専門家の見立てによると、近年は温暖化のため、暑さに負けて樹勢が落ちてしまっており、枯死による倒木の恐れがあるためにやむを得ず気温の低い時期に剪定を行っております。

街路樹の樹高が高くなり、かつ枝が繁茂すると、電線に接触したり、交通に支障を来してしまうため、枝先に付く花芽も含めて剪定せざるを得ず、剪定時期や方法に関わらず、春先にあまり花が付かないことがございます。

ご指摘の箇所の剪定のサイクルは、枝の繁茂の速さを考慮し、3年に1回程度としております。

なお、剪定時期や方法については、今後も研究を重ねてまいります。楽しみにされている市民の皆様には大変申し訳ございませんが、交通安全やライフライン確保のため、何卒御理解を賜りますよう、お願いいたします。

担当 道路河川課